

# 井上



2022~2023年 埼玉県議会議員 県政報告

和光市の皆さまにお配りすること17年!

県議会議員としても12年目に突入です!

無所属 43歳

あなたは **233**万**7175** 番目の読者です

前号までにお届けした枚数です

## わたるの配る ホームページ 第83号



前号(82号)の県政アンケートには、これまでで最も多くのお声を寄せていただいております。引き続き募集していますので是非ご意見をお寄せください!

右記のQRコードをスマホで読み取ると、アンケートフォームが立ち上がります。そのフォームに回答を入力してください。



発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所  
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18  
アントワープ平岡401号室  
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854  
E-mail: inoue\_airline@yahoo.co.jp

### 県政アンケートで寄せられた声<sup>が</sup>直ちに実現!

#### 相談事例①

外環側道の県道部分(=和光インター線)で戸田方面に向かう際に、和光ICに入るアンダーパス付近のガードレールにいたずら書きがされています。早めに対応できますか?



場所は熊野神社付近です



常温合材にて貼り付け工事を実施し、段差解消

#### 相談事例②

旧川越街道(=県道新座和光線)の朝霞方面に向かう車線に、マンホールの淵と路面との間に大きな溝が出来ている箇所があります。車道を走る自転車が転倒しないよう、対応できますか?



### 予算特別委員会での提案から9ヶ月。その時の提案が県政を動かす

令和4年3月に開催された「令和4年度 予算特別委員会」において、私は委員として様々な提案を行いました。私は執行部の答弁で「今後検討してまいります」という言葉が出た際には、いつもその後の事業進捗を確認するようにしています。今回、複数の事業で私の委員会質疑をキッカケに事業が前進した事例があったので、それらをご紹介します。

#### 保健医療部関係

##### 井上の質疑

不妊症・不育治療を行う方の相談支援の強化について伺います。流産や死産、また大切なお子様を亡くされた方の悲しみというのは計り知れません。同じ経験をした方の団体の中には、毎年10月9日から15日を「ベビーロスアウェアネスウィーク」という国際的な啓発週間として取り組む動きも出ております。ピンク&ブルーリボンが国際的なシンボルとなっていて、地方自治体にも徐々に支援の動きが広がってきております。相談支援に取り組むに当たり、ベビーロスアウェアネスの活動にも着目して推進してはどうか。



##### 保健医療部長 答弁

令和3年度には庁内にポスターの掲示を行いました。今後は市町村への周知や県ホームページやツイッターによる情報発信を検討しております。ベビーロスアウェアネスを広く知っていただく取組について今後も随時検討してまいります。

##### その後の対応状況

「ブルー&ピンクリボン運動」について、県のホームページで情報発信を開始しました。引き続き、流産や死産などでお子様をなくされた方への支援に取り組んでまいります。



#### 県道関係

##### 井上の質疑

私は令和3年から始まった『県が管理する道路の損傷をスマートフォンやパソコンで通報できるサービス』に大変注目しております。但し、名前が長くて分かりにくい。是非とも県民に分かりやすい名称を使ってはどうでしょうか。

##### 県土整備部長 答弁

取組の名称が更に認知されるよう、ホームページでの表記を分かりやすくする等、対応してまいりたいと考えております。

##### その後の対応状況

令和4年3月末に、道路損傷通報サービスのホームページの表記が分かりやすくなるよう修正を行いました。

- 例 ページタイトルを「道路損傷通報サービス」と明記する
- 例 通報フォームの入り口をページ上部に移動させる等

■「彩の国だより8月号」「県HPトップページ」「NACK5 朝情報★埼玉」等の様々な広報媒体を活用し、県民に周知しました。

⇒ その結果、9月1日時点における通報件数は今年度は22件と、昨年度の同時点と比較して5件増加。上記の対策と広報活動により一定の効果が得られているため、引き続き広報活動を実施していく。



#### 環境部関係

##### 井上の質疑

県の「気候変動への適応策」における「日傘の利用促進」について伺います。私は過去にも取り上げたことがあり、応援している取組です。(私も県と企業が共同企画した傘を購入して利用しております。)新規事業として、『県内行楽施設における日傘の貸出し事業』を行うとありますが、体験後に気に入った場合に購入できるという環境を作ってはいかがが。

##### 環境部長 答弁

日傘貸出体験の実施施設の都合もあるので、意見交換をしながら検討していきます。

##### その後の対応状況

日傘メーカーの協力により、日傘の体験イベントと併せて、埼玉県子ども動物自然公園、さいたまスーパーアリーナ(けやきひろば)、ところざわサクラタウンの3施設で販売も実施しました。このほか、県公式SNS「Saitama日傘」(Twitter、Instagram)を通じて、誰もが日傘を活用しやすい環境づくりのための情報発信等を行なっています。



Twitter @Saitama\_higasa



道路損傷通報サービスのページに繋がります



# 学生×県内外の地方議員

## 「しんどかった仕事は？」

### 浦和大で意見交換会

林大介准教授の「主権者教育と政治」の授業の一環で、議員とじかに接することで政治を身近に感じてもらうことを企画され、二、三年生の二十五人ほどが参加した。議員側は埼玉県議や白岡市議など、主義主張が異なる県内と東京都内の地方議員四人が出席。経歴や政治家を志したきっかけなどを語った後、グループごとに分かれて学生から質問を受けた。

「しんどかった仕事」を聞

野々口真由美・白岡市議（左）には「収入が低くて、県議になろうとは思わないか」

浦和大（さいたま市緑区）で先月、学生と県内外の地方議員の意見交換会が開かれ、学生たちが政治活動のやりがいや収入などについて率直な疑問をぶつけた。（杉原雄介）

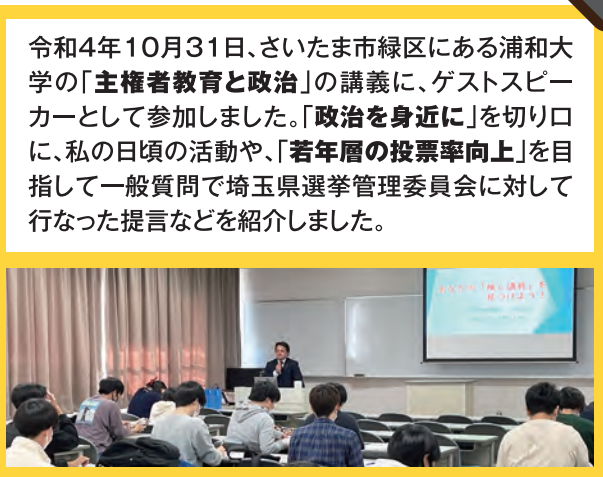
「ギイン」って、どんな人たち？ 浦和大（さいたま市緑区）で先月、学生と県内外の地方議員の意見交換会が開かれ、学生たちが政治活動のやりがいや収入などについて率直な疑問をぶつけた。（杉原雄介）

浦和大で意見交換会

かれた井上航真議（西）は無所属県民会議が挙げたのは、エスカレーター上で歩かないことを義務付ける県条例が昨年、成立するまでの経緯。最大会派の自民が出した条例案なので絶対に成立するけれど、課題や問題は挙げなければならず、数でかなわない相手とガチンコで戦った」と振り返った。

どの質問が。「市議は地元の問題が一番密着できるので、やりがいがある」と肯定的だが、白岡市議の報酬が月額二十六万六千円であることに触れ「家族を養える金額ではないので、市議をやりたいという若い人が出てこない」と小規模自治体の議会が抱える問題を語った。

来春の統一地方選では、県内でも県議選などが予定されている。初めて議員と話したという川口市の武田修一朗さん（三年）は「議員は会議で寝ているなど悪い印象があったが、実際に会ったと仕事を誇りを持っていると感じた。まだ選挙に行ったことはないが、統一地方選では候補者がどんな政策を訴えているのかを調べたい」と政治への関心を高めていた。



令和4年10月31日、さいたま市緑区にある浦和大学の「主権者教育と政治」の講義に、ゲストスピーカーとして参加しました。「政治を身近に」を切り口に、私の日頃の活動や、「若年層の投票率向上」を目指して一般質問で埼玉県選挙管理委員会に対して行なった提言などを紹介しました。



グループディスカッションでは、学生から様々な質問を受けました。その中でも最も盛り上がり、その後の議論に発展したのがこの質問でした。

**議員をやっているしんどかった仕事はなんですか？**

私が一番しんどいと思うのは「他会派が出した議員提案条例を審査すること」です。案文の読み込み、事前調査、質問原稿作成etcを知事が提案する場合よりも短い時間で行わなければなりません。条例を制定するということは「県民のルールを決める」ことだから責任も重い。条例が制定された後になって「条例案が出た時、なんでこの点が審議されなかったんだ」という意見が県民から出ないように私はガチンコで調査・議論をしています!

【参考】本来、議員提案条例とは検討段階から超党派で成立を目指すのが一般的であり、埼玉県議会のように最大会派が単独で提案するのはレアケースです。ちなみに茨城県議会では埼玉県議会と同様に、自民党系が過半数を有し、議会運営を主導してきた結果、議員提案条例を定例会の最終日に提案し、議員間での審議も無く多数決だけで成立するが通例になっている事例もあるとのことです。超党派での条例制定は道半ばですが、議員間でガチンコの議論が出来る埼玉県議会はその意味では健全とも言えるのかもしれませんが。



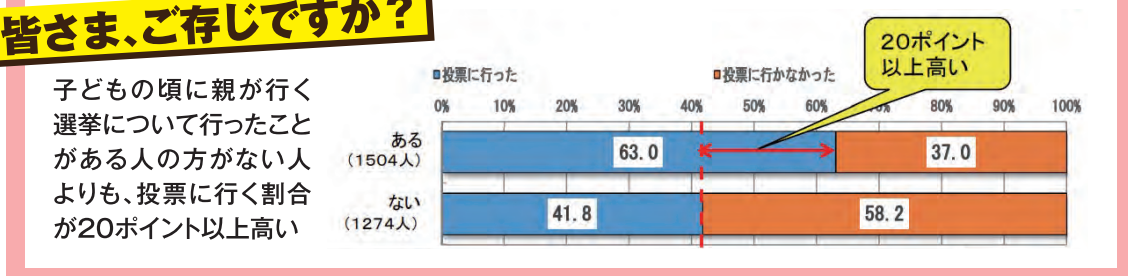
その証拠に、私は昨年、埼玉県議会で議員提案された「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例（6月定例会）」「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例（9月定例会）」の審議では、会派を代表して本会議質疑を行っております。会派のスローガン「たたかう政策集団」の名に相応しい議会活動を続けてまいります!

令和4年11月13日 東京新聞

## 統一地方選挙の選挙日程が決まりました!

<b>埼玉県議会議員選挙 (9日間)</b> 告示日 令和5年3月31日(金) 投票日 令和5年4月 9日(日)	<b>和光市議会議員選挙 (7日間)</b> 告示日 令和5年4月16日(日) 投票日 令和5年4月23日(日)
--	--

夏には埼玉県知事選もあります



このことは総務省が平成28年に実施した「18歳選挙権に関する意識調査」で明らかになりました。そこで、この結果に着目し、本年6月定例会の一般質問で「家族で投票に訪れることを統一地方選挙等の周知や投票呼び掛けに取り入れて推奨すべきでは?」と提案しました。

県選挙管理委員会からは「来年度の県議会議員選挙及び知事選挙を見据え、市町村選挙管理委員会とも連携し、家族で選挙に訪れることを啓発活動に取り入れるよう検討していく。」と答弁がありました。

来春に向けて県選管のPRにも注目していただくと共に、皆さまには和光市や埼玉県のまちづくりや政治を「ジブンゴト」と捉え、投票に行っていたいただきたいと思います。そして、お様が居る家庭は是非ご家族で投票所へ足をお運びください。

